

**基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進**

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

| 施策                           | 具体的な取組           | 事業名           | 担当課   | 点検・評価  |       |   |  |  |  |  |
|------------------------------|------------------|---------------|-------|--|-------|---|--|--|--|--|
|                              |                  |               |       | 実施主体   | 関係団体等 | 事業内容  | 成果   | 課題   | 評価   |  |
| ① 遊びを通した運動・スポーツの充実           | 子どもの運動・遊び推進事業    | 幼児課・子育て相談センター | 実施主体  | 草津市  | 実施計画  |   |  |  |  |  |
|                              |                  |               | 関係団体等 | 認定こども園、幼稚園、保育所、子育て相談センター   | 目標    | 様々な運動(遊び)を通じて、子どもの体力・運動能力の向上と、親同士や子ども同士の交流を深めるきっかけづくりにつなげる。   |  |  |  |  |
|                              |                  |               | 事業内容  | 認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動(遊び)の充実を図り、また、子育て支援センターにおいて、遊び場の提供や親子で身体を動かすことのできるイベントを開催する。   | 年度    | R3  | R4   | R5   | R6   | R7   |
|                              |                  |               | 成果    | 幼児の運動遊びプログラム事業により、モデル園(公立2園所)の実施・検証をまとめた「幼児の運動遊びプログラム～草津モデル～」を市内就学前施設、市内小学校に配布するとともに、運動遊びの大切さを伝えるシンポジウムを実施した。子育て家庭に交流の場を提供するとともに、親子で体を動かすことのできる場を提供し、子育てについての支援を行うことができた。                          | 区分    | 継続  | 継続   | 継続   | 継続   | 継続   |
|                              |                  |               | 課題    | 「幼児の運動遊びプログラム～草津モデル～」を活用しながら、市内の就学前施設が体を動かして遊ぶ楽しさや運動することが好きな子どもを育成し、さらなる保育の質の向上を図る必要がある。   | 計画    | ・運動能力調査(県主催)の参画<br>・運動遊びプログラムの策定<br>・運動遊びに関するイベントの開催  | ・運動能力調査(県主催)の参画<br>・運動遊びプログラムの実施<br>・運動遊びに関するイベントの開催   | ・運動能力調査(県主催)の参画<br>・運動遊びプログラムの実施<br>・運動遊びに関するイベントの開催 | ・運動能力調査(県主催)の参画<br>・運動遊びプログラムの実施<br>・運動遊びに関するイベントの開催 | ・運動能力調査(県主催)の参画<br>・運動遊びプログラムの実施<br>・運動遊びに関するイベントの開催 |
|                              |                  |               | 評価    | 3<br>5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった   | 実績    | ・10月 運動能力調査(県主催)<br>・幼児の運動遊びプログラムを策定し、モデル園2園で実施、検証をする。<br>(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により10月に予定していた「親子で楽しむ運動遊び」を中止) | ・運動遊びプログラム草津モデル策定<br>・7月幼児の運動遊びプログラム草津モデルシンポジウム開催<br>・8月各園の運動遊びの取組を市内1階ロビーにて掲示<br>・研修会「園庭環境から運動遊びを学ぶ」(聖泉大学 炭谷教授)<br>・9月研修「幼児の運動遊びと運動発達研修」(橋大学 口野教授)<br>・10月運動能力調査(県主催)の参画<br>・公立園所に年2回外部講師を派遣し、運動プログラム実施等<br>・10月「親子で楽しむ運動遊び」を開催 |  |  |  |
| ② 親子で楽しむ運動・機会の充実             | 親子で参加できる各種スポーツ教室 | スポーツ推進課       | 実施主体  | 草津市スポーツ振興事業体   | 実施計画  |   |  |  |  |  |
|                              |                  |               | 関係団体等 | スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会   | 目標    | スポーツを通じて、親子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。   |  |  |  |  |
|                              |                  |               | 事業内容  | 親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。   | 年度    | R3  | R4   | R5   | R6   | R7   |
|                              |                  |               | 成果    | 乳幼児の親子を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツの重要性や楽しさを伝えることができた。また幼児向けには、夏休み親子サッカー教室、夏休み子どもテニス教室、新春親子サッカー教室、新春親子テニスを企画し募集を行ったが、夏休み子どもテニス教室以外はコロナ禍および雨天のため中止となった。しかしながら応募については定員を上回っていたため、親子でのスポーツ需要が見込まれると推察される。 | 区分    | 継続  | 継続   | 継続   | 継続   | 継続   |
|                              |                  |               | 課題    | 計画していた児童対象の2教室が総合体育館の改修工事により開催が出来なかった。また、屋外競技が多く、天候に左右される。   | 計画    | 乳幼児期対象 4教室<br>児童期対象 2教室   | 乳幼児期対象 4教室<br>児童期対象 2教室  | 乳幼児期対象 4教室<br>児童期対象 2教室                              | 乳幼児期対象 4教室<br>児童期対象 2教室                              | 乳幼児期対象 4教室<br>児童期対象 2教室                              |
|                              |                  |               | 評価    | 3<br>5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった   | 実績    | 乳幼児対象 4教室<br>・親子の体操教室(春・秋)<br>・幼児サッカー教室(春・秋)<br>児童対象 2教室<br>・小学生スポーツ教室(春・秋・冬)<br>・夏休みジュニアスポーツ教室           | 乳幼児対象 1教室<br>・親子の体操教室(春・秋)<br>児童対象 4教室<br>・新春親子サッカー教室<br>・夏休み親子サッカー教室<br>・夏休み子ども運動教室<br>・未就学児サッカー教室(月4回)   |  |  |  |
| ③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実 | 地域協働各校           | 生涯学習課         | 実施主体  | 各推進組織  | 実施計画  |   |  |  |  |  |
|                              |                  |               | 関係団体等 | 地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者 など  | 目標    | 学校・家庭・地域の協働を通じて、生涯を通した学びや活動に関心を持つことができる機会の充実を図る。  |  |  |  |  |
|                              |                  |               | 事業内容  | 学校・家庭・地域がそれぞれ持つ教育機能を生かしながら、子どもと大人が、地域文化や現代的な課題などについて、学び合いの協働を積み重ねる社会を目指した活動を推進する。  | 年度    | R3  | R4   | R5   | R6   | R7   |
|                              |                  |               | 成果    | 各学校の地域協働各校では、命の授業(着衣泳)、伝統文化の継承(花踊り)、クラブ活動、部活動指導等において地域住民等の支援を得て、より充実した体験活動が実施できた。また、パラスポーツ、ポッチャなど新たな取組もみられた。   | 区分    | 継続  | 継続   | 継続   | 継続   | 継続   |
|                              |                  |               | 課題    | 対面の体験活動の良さを生かし、今後も活動を継続していくために、活動の支援者の裾野を広げていくことが必要である。  | 計画    | 支援者数 65人  | 支援者数 70人   | 支援者数 75人   | 支援者数 80人   | 支援者数 85人   |
|                              |                  |               | 評価    | 3<br>5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった   | 実績    | 支援者数 94人<br>・スポーツ体験・交流活動 51回 69人<br>・部活動 25回 25人  | 支援者数 96人<br>・スポーツ体験・交流活動 45回 89人<br>・部活動 90回 7人  |  |  |  |

**基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進**

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

| 施策                             | 具体的な取組            | 事業名     | 担当課   | 点検・評価   |       |   |   |  |                            |                            |
|--------------------------------|-------------------|---------|-------|---|-------|---|---|--|----------------------------|----------------------------|
|                                |                   |         |       | 実施主体  | 関係団体等 | 事業内容  | 成果  | 課題   | 評価                         |                            |
| ④<br>プロスポーツ選手機会と連携した子どものスポーツ推進 | くさつMIO夢先生事業       | スポーツ推進課 | 実施主体  | 草津市   | 実施計画  |   |   |  |                            |                            |
|                                |                   |         | 関係団体等 | MIOびわこ滋賀、小・中学校  | 目標    | 児童生徒がスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげる。 |   |  |                            |                            |
|                                |                   |         | 事業内容  | 市内の小・中学校においてMIOびわこ滋賀と連携した体育の授業を行い、児童とMIOびわこ滋賀の選手等のトップアスリートが交流できる機会の充実を図る。                           | 年度    | R3  | R4  | R5   | R6                         | R7                         |
|                                |                   |         | 成果    | プロスポーツ選手との交流を通じて、児童生徒のスポーツへの関心を高めつつ、自分の夢や希望に向かって努力する大切さを教えた。  | 区分    | 継続  | 継続  | 継続   | 継続                         | 継続                         |
|                                |                   |         | 課題    | より多くの子どもに授業を受けてもらうため、接触の少ないボール運動や夢に向けた講義授業等、新型コロナウイルス感染症対策を講じた内容で実施可能であることを案内する必要がある。               | 計画    | くさつMIO夢先生事業開催 4回                                      | くさつMIO夢先生事業開催 4回                                    | くさつMIO夢先生事業開催 5回   | くさつMIO夢先生事業開催 5回           | くさつMIO夢先生事業開催 6回           |
|                                |                   |         | 評価    | 3<br>5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった                | 実績    | くさつMIO夢先生事業開催 2回<br>・常盤小学校 6年(2回)                     | くさつMIO夢先生事業開催 4回<br>・笠縫小学校6年(2回)<br>・志津南小学校6年(2回)   |  |                            |                            |
| ①<br>授業内容の充実と体育指導の向上           | 小・中学校体育連盟活動推進事業   | 学校教育課   | 実施主体  | 草津市   | 実施計画  |   |   |  |                            |                            |
|                                |                   |         | 関係団体等 | 小学校体育連盟、中学校体育連盟   | 目標    | 小・中学校体育連盟の連携を強化し、運動クラブ・部活動の活性化を図る。                    |   |  |                            |                            |
|                                |                   |         | 事業内容  | 学校間の課題等の共有を図り、その解決策等について、協議・研究する機会の充実を図るとともに、タブレット端末等を活用した効率的・効果的な体育指導の向上を図ります。                     | 年度    | R3  | R4  | R5   | R6                         | R7                         |
|                                |                   |         | 成果    | 児童生徒の体力向上に向けて、推進会議を実施し、市立学校の本年度の取組を共有し、成果や課題について協議できた。  | 区分    | 継続  | 継続  | 検討   | 継続                         | 継続                         |
|                                |                   |         | 課題    | 令和5年度以降体力向上プロジェクト事業及び推進会議の在り方を検討していく必要がある。  | 計画    | 推進会議 年2回  | 推進会議 年2回  | 推進会議 年2回<br>今後の推進事業の在り方について検討                                  | 推進会議 年2回                   | 推進会議 年2回                   |
|                                |                   |         | 評価    | 3<br>5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった                | 実績    | 推進会議 年2回  | 推進会議 年2回  |  |                            |                            |
|                                | 小・中学校体力向上プロジェクト事業 | 学校教育課   | 実施主体  | 草津市   | 実施計画  |   |   |  |                            |                            |
|                                |                   |         | 関係団体等 | 小学校体育連盟、中学校体育連盟、立命館大学   | 目標    | 児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上につなげる。                           |   |  |                            |                            |
|                                |                   |         | 事業内容  | 児童が楽しみながら、体力向上を図れるよう、ダンス教室を開催する。また、児童・生徒が意欲的に体育授業に取り組めるよう、立命館大学と協働して授業内容の研究と充実を図るとともに、指導者の資質向上に努める。 | 年度    | R3  | R4  | R5   | R6                         | R7                         |
|                                |                   |         | 成果    | 児童向けダンス教室を15回実施(志津小学校2回)し、児童が運動に親しむ機会を創出できた。指導者の研修会も計画通り実施し、資質向上に努めた。                               | 区分    | 継続  | 継続  | 検討   | 継続                         | 継続                         |
|                                |                   |         | 課題    | 令和5年度以降体力向上プロジェクト事業の在り方を検討していく必要がある。  | 計画    | ダンス教室14回(小)<br>体育実技講習会 1回<br>体育実技研修会 1回               | ダンス教室14回(小)<br>体育実技講習会 1回<br>体育実技研修会 1回             | ダンス教室14回(小)<br>体育実技講習会 1回<br>体育実技研修会 1回<br>ダンス教室や研修会の在り方について検討 | これまでの取り組み内容をもとに、各学校で自立的に実施 | これまでの取り組み内容をもとに、各学校で自立的に実施 |
|                                |                   |         | 評価    | 4<br>5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった                | 実績    | ダンス教室14回(小)<br>体育実技講習会 1回<br>体育実技研修会 1回               | ダンス教室15回(小)<br>体育実技講習会 1回<br>体育実技研修会 1回<br>教職員研修 1回 |  |                            |                            |

**基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進**

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

| 施策                         | 具体的な取組                 | 事業名                    | 担当課   | 点検・評価  |   |   |  |  |  |                           |                           |
|----------------------------|------------------------|------------------------|-------|--|---|---|--|--|--|---------------------------|---------------------------|
|                            |                        |                        |       | 実施主体   | 関係団体等   | 事業内容  | 成果   | 課題   | 評価   |                           |                           |
| 体育の充実                      | ② 大学と連携した学校体育の充実       | ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU | 学校教育課 | 実施主体   | 草津市   | 実施計画  |  |  |  |                           |                           |
|                            |                        |                        |       | 関係団体等  | 小学校体育連盟、立命館大学   | 目標  | 児童が様々なスポーツの体験・出会いを通じて、運動をすることが好きになるきっかけづくりにつなげる。 |  |  |                           |                           |
|                            |                        |                        |       | 事業内容   | 市内の小学6年生が一堂に会するスポーツイベントを立命館大学と連携して開催し、日ごろの体育授業の取組の成果を発揮する場や大学の様々な運動部と交流できる機会をつくる。 | 年度  | R3   | R4   | R5   | R6                        | R7                        |
|                            |                        |                        |       | 成果   | 本年度も感染症拡大防止対策として集合形式での実施は中止とし、昨年度と同様に各学校にアスリートを招く形式のレッツエンジョイスポーツ事業を代替として実施できた。    | 区分  | 継続   | 継続   | 検討   | 継続                        | 継続                        |
|                            |                        |                        |       | 課題   | 今後の大会の在り方について再検討し、集合形式での実施について見直していく必要がある。  | 計画  | 10月開催  | 10月開催  | 10月開催<br>大会の在り方について検討  | 10月開催                     | 10月開催                     |
|                            |                        |                        |       | 評価   | 3   | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった | 実績   | 感染症の影響により、ジュニアスポーツフェスティバルは中止し、代替事業として「レッツエンジョイスポーツ!2021」を各学校で実施。 | 感染症の影響により、ジュニアスポーツフェスティバルは中止し、代替事業として「レッツエンジョイスポーツ!2022」を各学校で実施。 |                           |                           |
| ③ 学校・大学・児童育成クラブとの連携による体力向上 | 草津市チャレンジタイム            | 学校教育課                  | 実施主体  | 草津市  | 実施計画  |   |  |  |  |                           |                           |
|                            |                        |                        | 関係団体等 |  | 目標  | 児童の体力向上につなげる。   |  |  |  |                           |                           |
|                            |                        |                        | 事業内容  | 児童育成クラブや大学との連携を図りながら、短時間運動プログラム「草津市チャレンジタイム」の充実に努めることで児童の体力向上を進めます。                  | 年度  | R3  | R4   | R5   | R6   | R7                        |                           |
|                            |                        |                        | 成果    | 草津市チャレンジタイムを各小学校共通の取組とし、継続的に実施した。また、体育実技講習会でも、教職員向けに研修を実施できた。                        | 区分  | 継続  | 継続   | 継続   | 継続   | 継続                        |                           |
|                            |                        |                        | 課題    | 感染症の影響の他、小学生の体力が低下傾向にあることから、学校での取組を再度徹底することを優先したため、児童育成クラブとの連携はできなかった。今後必要か見直す必要がある。 | 計画  | 学校での継続的な実施<br>児童育成クラブとの連携   | 学校での継続的な実施<br>児童育成クラブとの連携                        | 学校での継続的な実施<br>児童育成クラブとの連携<br>今後の実施方法について検討                       | 学校での継続的な実施<br>児童育成クラブとの連携  | 学校での継続的な実施<br>児童育成クラブとの連携 |                           |
|                            |                        |                        | 評価    | 3  | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった   | 実績  | 児童育成クラブとの連携は感染症の影響もあり、できなかった。各学校では継続的に取り組んだ。     | 児童育成クラブとの連携は感染症の影響もあり、できなかった。各学校では継続的に取り組んだ。                     |  |                           |                           |
| (3) 部活動の充実                 | ① スポーツ関係団体や大学等と連携した部活動 | 運動クラブ・部活動支援事業          | 学校教育課 | 実施主体   | 草津市   | 実施計画  |  |  |  |                           |                           |
|                            |                        |                        |       | 関係団体等  | スポーツ協会、立命館大学  | 目標  | 児童・生徒の競技力や運動クラブ・部活動に取り組む意欲の向上につなげる。              |  |  |                           |                           |
|                            |                        |                        |       | 事業内容   | 運動クラブ・部活動の充実した運営体制の構築を図るため、スポーツ関係団体や大学等と連携し、指導者や支援員の派遣等を行う。                       | 年度  | R3   | R4   | R5   | R6                        | R7                        |
|                            |                        |                        |       | 成果   | 部活動指導員6名、部活動支援員6名を配置し、生徒のニーズに応じた指導体制を実現するとともに、教員の負担軽減に努めた。                        | 区分  | 継続   | 継続   | 検討   | 継続                        | 継続                        |
|                            |                        |                        |       | 課題   | 部活動指導にふさわしい人材の確保に課題がある。   | 計画  | 支援件数 12件<br>(市内6中学校×2名配置)                        | 支援件数 12件<br>(市内6中学校×2名配置)  | 支援件数 12件<br>(市内6中学校×2名配置)<br>部活動のあり方や指導員の配置について検討                | 支援件数 12件<br>(市内6中学校×2名配置) | 支援件数 12件<br>(市内6中学校×2名配置) |
|                            |                        |                        |       | 評価   | 3   | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった | 実績   | 部活動指導員5名<br>部活動支援員7名<br>各校に2名ずつ配置できるようにした。                       | 部活動指導員6名<br>部活動支援員6名   |                           |                           |

**基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進**

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

| 施策                | 具体的な取組   | 事業名  | 担当課  | 点検・評価   |   |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|-------------------|--|--|--|---|---|---------------------------------|---|---|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|--|--|--|
|                   |  |  |  | 実施計画  |   |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| (4) スポーツ少年団活動の活性化 | ① スポーツ少年団の支援   | スポーツ少年団事業補助金   | スポーツ推進課  | 実施主体  | 草津市   | 実施計画                            |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  | 関係団体等   | スポーツ少年団(スポーツ協会)   | 目標                              | スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。                  |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  | 事業内容  | 子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。学校や地域のスポーツ関係団体等と連携し、スポーツ少年団活動の情報発信を積極的に行い、団員の確保に努める。 | 年度                              | R3  | R4                                      | R5                                 | R6                                 | R7                                   |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  |   |   | 区分                              | 継続  | 継続                                      | 継続                                 | 継続                                 | 継続                                   |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  | 成果  | 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を施し、計画通りの事業を展開することができ、スポーツ少年団の交流を図ることが出来た。  | 計画                              | 活動情報を発信し、団体の活性化を図る。団体数27団体 団員数600人        | 活動情報を発信し、団体の活性化を図る。団体数30団体 団員700人       | 活動情報を発信し、団体の活性化を図る。団体数33団体 団員数800人 | 活動情報を発信し、団体の活性化を図る。団体数36団体 団員数900人 | 活動情報を発信し、団体の活性化を図る。団体数39団体 団員数1,000人 |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  |   |   |                                 | 実績  | 団体数 22団体 団員数 507人 事業実施回数 4回(6/10回コロナ中止) | 団体数 22団体 団員数 442人 事業実施回数 10/10回    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| 課題                | 団員確保についての活動が乏しく、団員数が減少する結果となった。その対策として、来年度に向けて、魅力的で、充実のあるスポーツ少年団活動となるよう各単位団からアンケートによる意見を聴取する。また、団員募集のチラシ配布とポスター掲示による団員確保のための活動を実施する。 | 評価   | 3  | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった |   |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| (5) スポーツ傷害の予防     | ① スポーツ傷害に関する学習の推進  | スポーツ傷害予防講習会  | 学校教育課  | 実施主体  | 草津市   | 実施計画                            |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  | 関係団体等   | 中学校体育連盟   | 目標                              | 生徒のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、スポーツ活動中の事故等の予防に努める。 |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  | 事業内容  | 生徒が自身や他者の健康や安全を保持していくことで、継続的にスポーツできるよう、中学校におけるスポーツ傷害に関する学習を推進する。  | 年度                              | R3  | R4                                      | R5                                 | R6                                 | R7                                   |  |  |  |  |  |
|                   | 成果   | 市立中学校全てで講習会を実施できた。また、受講人数の適正化に努め、生徒数の多い学校については回数を増やして実施した。 | 計画   | スポーツ傷害にかかる実技講習会   | スポーツ傷害にかかる実技講習会   | スポーツ傷害にかかる実技講習会講習会の在り方について検討    | これまでの取り組み内容をもとに、各学校で自立的に実施                | これまでの取り組み内容をもとに、各学校で自立的に実施              |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  |  |  | 実績  | スポーツ傷害予防にかかる実技講習会各中学校で少なくとも1回実施   | スポーツ傷害予防にかかる実技講習会各中学校で少なくとも1回実施 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   | 課題   | 今後の事業の在り方について検討する必要がある。                                    | 評価   | 3   | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった                                     |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| ② スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成 |  |  |  | スポーツ指導者講習会  | スポーツ推進課   | 実施主体                            | スポーツ協会                                    | 実施計画                                    |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| 関係団体等             | 草津市スポーツ振興事業体   | 目標   | 指導者のスポーツ傷害に対する意識の醸成を図り、子どものスポーツ活動中の事故等の予防に努める。 |   |   |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| 事業内容              | 子どもが継続してスポーツに取り組んでいけるよう、スポーツ傷害に関する豊富な知識を持つ指導者の育成を図る。   | 年度   | R3   |   |   | R4                              | R5  | R6                                      | R7                                 |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  | 区分   | 継続   |   |   | 継続                              | 継続  | 継続                                      | 継続                                 |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| 成果                | 競技団体やスポーツ少年団指導者を対象とした講習会が計画通り実施できた。スポーツメンタルトレーニングを研究する大学教授とスポーツプログラマー有資格者を講師に迎え、「パフォーマンスアップの為の自己理解」と「未来から託されたスポーツへの期待」を題材とした講習会とした。  | 計画   | 指導者講習会 1回 専門講座 3回                              |   |   | 指導者講習会 1回 専門講座 3回               | 指導者講習会 1回 専門講座 3回                         | 指導者講習会 1回 専門講座 3回                       | 指導者講習会 1回 専門講座 3回                  |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
|                   |  |  | 実績   | (スポーツ協会) 指導者講習会 コロナ禍により中止   | 指導者講習会 2回   |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |
| 課題                | 時代に沿って、関心の高いテーマを基に講習会の計画を進めること。  | 評価   | 3  | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た<br>4:計画以上にできた<br>3:計画どおりできた<br>2:計画どおりできなかった<br>1:取り組まなかった |   |                                 |   |   |                                    |                                    |                                      |  |  |  |  |  |